

「藤岡市の男女共同参画に関するアンケート調査」

ご協力をお願い

市民のみなさまには、日頃より市政へのご理解・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

藤岡市では、男女が性別にかかわらず、対等な存在として尊重され、喜びも責任も分かちあい、一人一人が自立し、責任を持って自らの生き方を選択でき、生活に関わるあらゆる分野において、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指して、「男女共同参画社会の実現（第4次藤岡市総合計画）」に沿って取り組んでいるところです。

このたび本市では、新たに「男女共同参画基本計画」の策定をおこなうにあたり、市民の皆様にも男女共同参画に対するお考えやご意見をうかがうためのアンケートを実施することとなりました。

今回の調査は、本市在住の20歳以上80歳未満の男女2,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

本調査は計画策定の基礎資料となるもので、調査の目的以外には使用いたしません。また、回答はすべて無記名で統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成27年10月

藤岡市長 新井 利明

【ご記入に際してのお願い】

1. アンケートには、封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。
2. 選択肢のうち、ご自分にあてはまる番号を○印で囲んでください。
3. 記入後は、お名前を記入せずに同封の返信用封筒（切手は不要）へ入れて、11月30日（月）までにポストへお入れください。
4. この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

藤岡市男女共同参画推進協議会 事務局

藤岡市役所 企画部自治交流課地域づくり係 TEL：0274-22-1211 内線：2215

あなたのことについておたずねします。

問1 あなたの性別についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 20代 | 2. 30代 | 3. 40代 |
| 4. 50代 | 5. 60代 | 6. 70代以上 |

問3 あなたの結婚経験の有無についてお答えください。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 結婚している | 2. 結婚したが離別・死別 |
| 3. 結婚はしていないが同居のパートナーがいる | 4. 結婚経験はない |

問4 あなたの家族構成についてお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|----------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ(事実婚含む) | 3. 親と子(2世代同居) |
| 4. 親と子と孫(3世代同居) | 5. その他() | |

問5 あなたにお子さんはいらっしゃいますか。(1つに○)

- | | | | |
|-------|---------|--------|-------|
| 1. いる | ⇒ 問5-1へ | 2. いない | ⇒ 問6へ |
|-------|---------|--------|-------|

問5-1 一番下のお子さんは次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1. 乳幼児 | 2. 小学1~3年生 | 3. 小学4~6年生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生以上の学生 | 6. 社会人(独身) |
| 7. 社会人(既婚) | | |

問6 あなたは現在どのような仕事についていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------------|---------------------|--------------|
| 1. 経営者 | 2. 家族従業者 | 3. 自由業 |
| 4. 会社・団体・官公庁の管理職 | 5. 管理職以外の一般社員・職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 派遣・契約社員 | 8. 家で仕事(人に教える・内職など) | |
| 9. 学生 | 10. 専業主婦・主夫 | 11. 無職 |
| 12. その他() | | |

【問3で1~3とお答えいただいた方におたずねします】

問7 あなたの配偶者は現在どのような仕事についていますか。(1つに○)

- | | | |
|------------------|---------------------|--------------|
| 1. 経営者 | 2. 家族従業者 | 3. 自由業 |
| 4. 会社・団体・官公庁の管理職 | 5. 管理職以外の一般社員・職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 派遣・契約社員 | 8. 家で仕事(人に教える・内職など) | 9. 学生 |
| 10. 専業主婦・主夫 | 11. 無職 | |
| 12. その他() | | |

裏面へ続く

家庭生活についておたずねします。

問8 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方をあなたはどのように思いますか。
(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 賛成 | 2. どちらかといえば賛成 |
| 3. どちらかといえば反対 | 4. 反対 |

問9 次のような日常的な事柄は、現在、主に誰がしていますか。また、希望としては誰がしたらよいと思いますか。
(A～Iのそれぞれについて、現実と希望、各1～5の1つに○)

	現 在					希 望				
	主として夫	両方同じくらい	主として妻	その他の人	該当しない	主として夫	両方同じくらい	主として妻	その他の人	該当しない
A. 掃除	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
B. 洗濯	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
C. 食事の支度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
D. 食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
E. 日常の買い物	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
F. 近所づき合い	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
G. 育児										
就園前 (0～3歳位)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
就園児 (4～6歳位)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
小学校低学年 (1～3年生)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
小学校高学年 (4～6年生)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
中学生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
16歳以上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
H. 親の世話・介護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
I. 役所・銀行等の手続き	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問10 以下について、あなたは平日にどのくらいの時間を費やしていますか。(1つに○)

① 家事や子育て、介護等

- | | | |
|---------------|------------|------------|
| 1. していない(0時間) | 2. 1時間未満 | 3. 1～2時間未満 |
| 4. 2～3時間未満 | 5. 3～4時間未満 | 6. 4～5時間未満 |
| 7. 5時間以上 | | |

② 仕事(通勤を含む)

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. していない(0時間) | 2. 2時間未満 | 3. 2～4時間未満 |
| 4. 4～6時間未満 | 5. 6～8時間未満 | 6. 8～10時間未満 |
| 7. 10～12時間未満 | 8. 12時間以上 | |

問11 子どもの育て方についてあなたはどのように思いますか。
(A～Dのそれぞれについて、1～5の1つに○)

	そう 思う	どちら かと言 え ば そう 思う	ど ち ら か と 言 え ば そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い
A. 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい。	1	2	3	4	5
B. 性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけさせる方がよい。	1	2	3	4	5
C. 性別にとらわれず、勇気や決断力、思いやりを身につけさせる方がよい。	1	2	3	4	5
D. 性別にとらわれず、経済的自立ができる子に育てる方がよい。	1	2	3	4	5

問12 生活の中で優先度が高い順に1～4の番号を記入してください。
(現在の順位と、希望の順位を記入してください)

	優先順位	
	現 在	希 望
A. 仕事		
B. 家庭		
C. 地域活動		
D. その他 ()		

問13 次にあげる結婚・子どものことについて、あなたはどのようにお考えですか。
(A～Eの項目について、各1つに○)

	賛 成	い ど ち ら か と 言 え ば 賛 成	い ど ち ら か と 言 え ば 反 対	反 対	わ か ら な い
A. 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4	5
B. 精神的にも経済的にも安定するから結婚した方がよい	1	2	3	4	5
C. 結婚してもうまくいかなければ離婚してもかまわない	1	2	3	4	5
D. 結婚しても、子どもを持つことにこだわらない	1	2	3	4	5
E. 結婚したら自分自身のことより家族を中心に考えて生活した方がよい	1	2	3	4	5
F. 結婚は、形式等にこだわらなくてよい	1	2	3	4	5

裏面へ続く

問18 男女がともに仕事と家庭を両立していくために、どのような環境整備が必要だと思いますか。

(あてはまるものに3つまで○)

1. 代替要員の確保など、育児・介護休業制度を利用しやすい職場環境を整備すること
2. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実すること
3. 地域の保育所や学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容を充実すること
4. 職場内に保育施設を整備すること
5. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
6. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
7. 子育てや介護などを理由に退職した者を元の職場で再雇用する制度を導入すること
8. 男性中心の職場運営を見直すこと
9. 賃金や昇進などの男女間格差をなくすこと
10. パート、派遣・契約社員などの非正社員の労働条件を改善すること
11. 職業上、必要な教育・訓練等の機会や内容を充実すること
12. 男女がともに仕事と家庭を両立していくことに対して、周囲の理解と協力があること
13. 仕事や職場環境についての相談窓口を充実すること
14. その他 ()

少子・高齢化についておたずねします。

問19 出生率が低下しているのは何が原因だと思いますか。(あてはまるものに3つまで○)

1. 子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み(雇用条件・保育等)が整っていない
2. 子育てに経費がかかりすぎる
3. 結婚しない人が増えた
4. 子どもより仕事や余暇等を充実したいと考える人が増えた
5. 女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した
6. 楽をしたい、子育てが面倒という人が増えた
7. 出産・子育てに対する男性(夫)の理解・協力が足りず、女性(妻)の精神的・肉体的な負担が大きい
8. 子どもは少なく産んで、十分手をかけて育てたいという人が増えた
9. 住宅事情が悪い
10. 子供を育てることへの不安感
11. その他 ()

問20 子どもを生き育てやすい社会にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(あてはまるものに2つまで○)

1. 男性の育児参加
2. 保育施設の整備や保育時間の延長など、保育事業の充実
3. 育児相談等子育て支援の整備
4. 育児後の再雇用制度の整備
5. 育児休業や短時間勤務などの整備
6. 子育てに対する経済的な支援
7. 女性が社会に進出しないこと
8. その他 ()

問21 あなたが自分の老後に不安を感じるのはどのようなことですか。
 (あてはまるものに3つまで○)

1. 働きたくても仕事がないこと
2. 配偶者に先立たれた後の生活のこと
3. 子どもや孫などと別居して孤独になること
4. 介護が必要になったときのこと
5. 友人・仲間とのつきあいのこと
6. 適当な趣味がないこと
7. 生活費のこと
8. 健康のこと
9. 住居のこと
10. 特に感じていない
11. 老後のことは考えていない
12. その他 ()

問22 もし日常生活が不自由になったとき、身の回りの世話はどなたにしてもらいたいと思いますか。
 (あてはまるものに2つまで○)

1. 配偶者に世話をしてもらう
2. 息子に世話をしてもらう
3. 娘に世話をしてもらう
4. 息子の妻に世話をしてもらう
5. 親戚に世話をしてもらう
6. 特別養護老人ホーム等の施設に入る
7. ホームヘルパーに世話をしてもらう
8. 知人・友人に世話をしてもらう
9. その他 ()

問23 寝たきりになったお年寄りなどの介護は、女性が主たる担い手となるケースが多いですが、あなたはこのことについてどう思いますか。
 (あてはまるものに2つまで○)

1. 介護される側のことを考えると、女性が介護するほうがよい
2. 労働時間・収入などの現状からみて、女性に負担が集中するのはやむを得ない
3. 女性だけの負担にならないように男性も介護した方がよい
4. 介護保険など、社会制度を利用した方がよい
5. 女性の役割だと思う
6. その他 ()
7. わからない

性・暴力と人権についておたずねします。

問24 あなたは、人権が侵害されていると感じるのは、どのようなことですか。
(A～Iのそれぞれについて、1～5の1つに○)

	人権侵害だと思 う	ある程度人権 侵害だと思 う	あまり人権侵害 とは思わ ない	全く人権侵害 と思わ ない	分 か ら な い
A. レイプ・痴漢などの性犯罪	1	2	3	4	5
B. 売春・買春・援助交際	1	2	3	4	5
C. 職場・学校内等における様々なハラスメント (いやがらせ)	1	2	3	4	5
D. ストーカーなどのつきまとい行為	1	2	3	4	5
E. 夫や妻・恋人からの身体への暴力	1	2	3	4	5
F. 夫や妻・恋人からのことばの暴力	1	2	3	4	5
G. 夫婦間における一方的な性的行為の強要	1	2	3	4	5
H. ポルノ映画・ポルノビデオ・ポルノ雑誌等による性の商品化	1	2	3	4	5
I. マスメディア(新聞・テレビ等)の内容とは無関係の裸や下着姿、体の一部の誇張等の性	1	2	3	4	5

問25 あなたはこれまで配偶者(事実婚や離別・死別を含む)や恋人などのパートナーから、次のような行為をされたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 身体的な暴力を受けた
2. ことばの暴力を受けた
3. 嫌がっているのに性的行為を強要された
4. 避妊に協力しなかった
5. 見たくないのにポルノ雑誌やビデオを見せられた
6. 何を言っても無視されつづけた
7. 電話や郵便物をチェックされた
8. 大声で怒鳴られた
9. 物を投げられた
10. 生活費を渡さないなど、経済的に抑圧された
11. その他()

No.1～11のどれかに○をされた方



問26へ

あてはまる項目がなかった方



問28へ

問26 そのことについて、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(1つに○)

1. 相談した ⇨ 問27-1へ 2. 相談しなかった ⇨ 問27-2へ

問27-1 どこ(誰)に相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族	2. 友人・知人	3. 市役所・県などの公的機関
4. 警察	5. 民間の相談窓口	6. 医師
7. その他()		

裏面へ続く

問27-2 相談しなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

1. どこに相談したらよいかわからなかった
2. 相手(配偶者)にばれるのがこわかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 自分が我慢すればいいと思った
5. 大げさにしたくなかった
6. 相談するのが恥ずかしかった
7. 相談しようという考えが思い浮かばなかった
8. 自分にも悪いところがあると思った
9. 相談するほどでもないと思った
10. その他()

地域・社会活動についておたずねします

問28 あなたは、つぎのような地域や社会での活動に参加していますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 自治会や町内会などの地域活動
2. PTAや子ども会役員・委員
3. ボランティア活動
4. 消費生活に関する運動
5. 国際協力・交流に関する活動
6. 自然保護やリサイクルに関する活動
7. 趣味や教養・スポーツなどのサークル活動
8. 行政(審議会や委員会)への参画や政治に関わる活動
9. その他()
10. 参加していない

【問28で「10 参加していない」とお答えの方におたずねします。】

問29 あなたが、地域や社会の活動に参加していない理由は何ですか。
(複数ある場合は3つまで○)

1. 仕事(または家事・育児)が忙しいので時間的余裕が無い
2. 家族の理解や協力が得られない
3. 介護が必要な高齢者や病人がいる
4. 興味のもてるものがない
5. 組織活動が苦手(わずらわしい)
6. 活動についての情報をどこで探したらよいか分からない
7. 関心がない
8. その他()

問30 あなたは、今後地域や社会の活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

1. 積極的に参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 参加したいと思わない

問31 男女が協力して家庭生活や社会活動・地域活動へ積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1.	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2.	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3.	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4.	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等について当事者の考え方を尊重すること
5.	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6.	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7.	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるような啓発や情報提供を行うこと
8.	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間(ネットワーク)づくりを進めること
9.	特に必要な事はない
10.	その他（具体的に _____ ）

行政に期待することについておたずねします。

問32 あなたは、次の分野で男女は平等になっていると思いますか。（A～Hのそれぞれについて、1～6の1つに○）

	男性の方が優遇されている	男性が優遇されている	どちらかとも言えない	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	分からない
A. 家庭生活では	1	2	3	4	5	6	
B. 職場では	1	2	3	4	5	6	
C. 学校教育の場では	1	2	3	4	5	6	
D. 政治の場では	1	2	3	4	5	6	
E. 地域活動の場では	1	2	3	4	5	6	
F. 法律や制度では	1	2	3	4	5	6	
G. 社会通念、慣習・しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6	
H. 社会全体では	1	2	3	4	5	6	

問33 女性の登用を計画的に進めていくことをポジティブ・アクション（積極的改善措置）といいます。このような取り組みを行うことについて、あなたはどのように思いますか。（1つに○）

1.	賛成する
2.	どちらかといえば賛成する
3.	どちらかといえば反対する
4.	反対する
5.	どちらともいえない

